

中嶋嶺雄氏

(東京外語大学教授)

今回の胡耀邦総書記の辞任は端的に言えば、鄧小平体制の内部分裂の露呈だ。

中国はこのところ、鄧主導の開放体制によるさまざまな

胡耀邦総書記が辞任

学生運動が引き金となった中国の政変は十六日、劇的な展開を見たが、これによって中国の近代化路線はどんな影響を受け、日中関係にはどのようなね返りがあるのか。専門家に今後の見通しなどを聞いてみた。

中国の政変と言えば、これまで決まって国民経済五カ年計画がスタートする年に起きていた。文化大革命のぼつ発も、第三次五カ年計画初年度の一九六六年だった。林彪事

鳴倉民生氏

(愛知大学教授)

矛盾が出ていた。保守派(私には原則派と呼んでいるが)の陳雲政治局常務委員がこのひずみを追及、かなり力をつ



「ことだ。今回はその責任を取らされたというのが最大の理由だろう。」

秋の第十三回党大会を目前に改革派が焦りを強めていた。

専門家の見方

現在の、開放政策の主柱となっていた鄧氏を失脚させるわけにはいかない。そんなこと

今回の胡氏更迭は、党内手続きを踏んだといえ、鄧氏が自らの政治路線維持のため

【大阪】後藤田官房長官は十六日夜、訪問先の大阪市内で、中国共産党の胡耀邦総書記が辞任したことについて

官房長官

平主流派指導部、保守派を含め、事態を打開するため、胡氏が学生デモを鼓舞して「大いにやれ」と言っている。その責任の取り方を巡って、鄧小平指導部内に分裂が

きりつてきた。胡氏はこの混乱ぶりだ。八十二歳の高齡の鄧氏がなくなると、中国はどうなるのか、極めて不安定な政治状況になってきた。

今後、一時的に趙紫陽政治が再開しようというのが、事の本質だろう。

え、この混乱ぶりだ。八十二歳の高齡の鄧氏がなくなると、中国はどうなるのか、極めて不安定な政治状況になってきた。

今回の胡氏更迭は、党内手続きを踏んだといえ、鄧氏が自らの政治路線維持のため

【大阪】後藤田官房長官は十六日夜、訪問先の大阪市内で、中国共産党の胡耀邦総書記が辞任したことについて

鄧氏が胡氏切る

「ことだ。今回はその責任を取らされたというのが最大の理由だろう。」

現在の、開放政策の主柱となっていた鄧氏を失脚させるわけにはいかない。そんなこと

今回の胡氏更迭は、党内手続きを踏んだといえ、鄧氏が自らの政治路線維持のため

今回の胡氏更迭は、党内手続きを踏んだといえ、鄧氏が自らの政治路線維持のため

今回の胡氏更迭は、党内手続きを踏んだといえ、鄧氏が自らの政治路線維持のため

今回の胡氏更迭は、党内手続きを踏んだといえ、鄧氏が自らの政治路線維持のため

秋の第十三回党大会を目前に改革派が焦りを強めていた。

現在の、開放政策の主柱となっていた鄧氏を失脚させるわけにはいかない。そんなこと

今回の胡氏更迭は、党内手続きを踏んだといえ、鄧氏が自らの政治路線維持のため

今回の胡氏更迭は、党内手続きを踏んだといえ、鄧氏が自らの政治路線維持のため

今回の胡氏更迭は、党内手続きを踏んだといえ、鄧氏が自らの政治路線維持のため

今回の胡氏更迭は、党内手続きを踏んだといえ、鄧氏が自らの政治路線維持のため

専門家の見方

現在の、開放政策の主柱となっていた鄧氏を失脚させるわけにはいかない。そんなこと

今回の胡氏更迭は、党内手続きを踏んだといえ、鄧氏が自らの政治路線維持のため

今回の胡氏更迭は、党内手続きを踏んだといえ、鄧氏が自らの政治路線維持のため

件、天安門事件などもその例にもれない。そして、一九八六年は第七次五カ年計画の第

しなればならない。今度の場合、陳雲、彭真、

せた。社会主義思想の根底を揺さぶり、国家財政の窮迫

その一方で、経済テクノク

ラトや西側の科学技術に通じて高級知識人が急速に地位

い」と映り「背後で仕組んだ」と受け取られた可能性は

経済改革の犠牲

らプラントを導入せざるを得ない。ところが、そのプラ

闘争が起きることになる。た

は、農村経済の改革を積極的

に進めたというのである。

このうした風潮に対する物言

青年団の育ての親。若者や学

一年目であった。これまでのパターンからすれば、政変が起きて

場用地や電力、利水などのインフラストラクチャーに投資

ある。

主義の毒素に警戒心をとがら

格である胡耀邦総書記が、暴

ものが、保守派には「手ぬる

なるまい。(中国経済)